



「富貴飛燕、芙蓉翡翠」 奥原晴湖 明治28年(1895) 茨城県近代美術館蔵

【展覧会概要】(資料2～3ページ参照)

中国の文人画にルーツをもち、山水や花鳥に漢詩を添えて画家の胸中の理想世界を描く「南画」は、江戸中期から明治初期にかけて大いに流行しました。美術指導者として近代日本美術を牽引した岡倉天心(1863-1913)も、上野に画塾を構えた南画家・奥原晴湖(1837-1913)に南画を習った時期があります。

現在の茨城県古河市出身の晴湖は元治2年(1865)、29歳で江戸へ出ると、やがて維新後の東京で、時代の雰囲気と合致した大胆・奔放な筆致の作品を描くようになり、名声を博します。女性でありながらいち早く断髪するなど、豪胆な性格でも評判だった晴湖は、政財界の要人などの後援者にも恵まれました。明治24(1891)、55歳で埼玉県の熊谷へ隠棲しますが、以降は東京で活躍した時代とは対照的な、精緻で細密な作品を晩年まで描き続けました。

一方、大正期に入ると南画にも新たな動きがあり、西欧の近代絵画の影響を受けた画家たちにより、既存の南画の形式にとらわれず、より自由な画題や様式で詩的感情を描く「新南画」と呼ばれる作品が誕生しました。

本展では、東京・熊谷両時期の晴湖の作品のほか、同時期に活躍した猪瀬東寧(1838-1908)や野澤白華(1845-1904)ら茨城ゆかりの南画家、そして大正期に活躍した小川芋銭(1868-1938)ら新南画を生み出した作家たちの作品をご紹介します。

《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711 E-mail:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:宮本 夢花(みやもと ゆめか)/広報担当:大津 友美(おおつ ゆみ)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(<https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>)

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

【開催概要】

1 展覧会名 企画展「奥原晴湖と近代の南画」

2 会 期 令和7年(2025)2月21日(金)～令和7年(2025)4月20日(日)
※会期中、一部展示替えあり
(前期：2月21日(金)～3月23日(日) 後期：3月25日(火)～4月20日(日))

休館日：月曜日
(ただし、2月24日(月・振)は開館。2月25日(火)は休館)

3 会 場 茨城県天心記念五浦美術館 展示室A

4 主 催 茨城県天心記念五浦美術館

5 入 場 料 一般360(290)円/満70歳以上180(140)円/高校生240(170)円/小中生170(110)円
※()内は、20名以上の団体料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証等をご持参の方および付き添いの方1名は無料
※3月1日(土)は満70歳以上の方無料
※春休み期間を除く土曜日は高校生以下無料

6 出品数 約35点

7 主な出品作品 ※制作年順

「富貴飛燕、芙蓉翡翠」 <small>ふうきひせん ふうようひすい</small>	奥原晴湖	明治28年(1895)	茨城県近代美術館蔵	
「山水図」 <small>さんすいず</small>	奥原晴湖	明治30年(1897)	茨城県立歴史館蔵	※前期展示
「秋景山水図」 <small>しゅうけい とうけい</small>	猪瀬東寧	明治35年(1902)	茨城県近代美術館蔵	※後期展示
「威震八荒図」 <small>いしんはつこうず</small>	奥原晴湖	明治41年(1908)	茨城県立歴史館蔵	※後期展示
「桃花源」 <small>とうかげん</small>	小川芋銭	昭和7年(1932)	茨城県近代美術館蔵	
「山中探奇図」 <small>さんちゅうたんきず</small>	松林桂月	昭和7年(1932)	茨城県近代美術館蔵	

8 作家略歴「奥原晴湖」

- 1837年 古河藩士池田家の三女として生まれる
- 1865年 関宿藩領奥原家の養女となり江戸へ出る。晴湖と号し、画室「墨吐烟雲楼」を構える
- 1868年 木戸孝允、山内容堂らの画会に出席、名声を上げる
- 1871年 男子の断髪令が出ると晴湖も断髪する
- 1874年 下谷の文人グループと半間社を結成
- 1879年 『皇国名誉書画人名録』 閨秀画家の筆頭に名が載る
- 1891年 熊谷へ隠棲。画室「繡水草堂」(はじめ繡佛草堂)を構える
- 1896年 北越旅行。1900年までたびたび旅行に出る
- 1913年 死去。墓所は熊谷の龍淵寺

9 本展のみどころ

- (1) 大胆奔放な筆致の水墨山水画で一世を風靡した東京時代と、謹厳精緻な彩色山水画を多く手掛けた熊谷隠棲時代。両時代の晴湖の作品を、一部作品を展示替えして展覧します。晴湖を特集する展示としては、県内で15年ぶり、県北エリアでは初となります。
- (2) 令和4(2022)年度に茨城県近代美術館に収蔵された田能村直入(1814-1907)、渡辺小華(1835-1887)、松林桂月(1876-1963)ら近代の南画家たちの作品を展示します。また、小華の門人で常陸大宮市出身の野澤白華や、晴湖と親交があり、多くの展覧会で賞を得た常総市出身の猪瀬東寧など、茨城ゆかりの南画家の作品もあわせてご紹介します。
- (3) 大正期には、西欧の近代絵画に接したことで、東洋の絵画や文化に再び目を向けるようになった画家たちにより、既存の南画の形式にとらわれず、より自由な画題や様式で詩的感情を描く「新南画」が誕生しました。老荘思想を探求し、独自の作風を展開した小川芋銭の作品を中心に、新南画の世界観もお楽しみください。

10 広報文

- (1) 中国の文人画にルーツをもち、山水や花鳥に漢詩を添えて画家の理想世界を描く「南画」。茨城県古河出身の女性南画家・奥原晴湖(1837-1913)は、維新後の東京で大胆な筆致の作品を描き、名声を博しました。明治24年(1891)、晴湖は埼玉県熊谷へ隠棲しますが、以降は東京で活躍した時代とは対照的な、精緻で細密な作品を晩年まで描いています。一方、大正期に入ると南画にも新たな動きがあり、西欧の近代絵画の影響を受けた画家たちにより、既存の形式にとらわれず、より自由な様式で詩的感情を描く「新南画」が誕生します。本展では、東京・熊谷両時代の晴湖の作品のほか、小川芋銭(1868-1938)ら新南画を生み出した作家たちの作品を紹介します。

(316字)

- (2) 中国の文人画にルーツをもち、山水や花鳥に漢詩を添えて画家の理想世界を描く「南画」。本展では、明治初期に活躍した茨城県古河出身の女性南画家・奥原晴湖(1837-1913)のほか、猪瀬東寧(1838-1908)ら茨城ゆかりの南画家による作品、そして大正期に小川芋銭(1868-1938)らによって描かれた、新南画と呼ばれる作品をご紹介します。

(151字)

- (3) 中国の文人画にルーツをもち、山水や花鳥に漢詩を添えて画家の理想世界を描く「南画」。本展では、明治初期に活躍した茨城県古河出身の女性南画家・奥原晴湖(1837-1913)の作品をご紹介します。

(89字)

11 会期中のイベント

(1) ワークショップ「水墨画を体験してみよう」

日時：3月1日[土] 午前の部 午前10時～、午後の部 午後1時30分～

会場：講座室 ※要企画展入場券(半券可)、当日受付先着順

定員：各回20名程度

(2) ギャラリートーク

展覧会担当者が作品解説を行います。

日時：3月8日[土]、4月6日[日] 各日午後1時20分～(約40分)

会場：企画展示室A ※要企画展当日入場券、申込不要

(3) 映画会(五浦名画座)

3月9日[日] 「三度目の殺人」(2017年/124分/カラー/日本)

会場：講堂 午前の部 9時45分～、午後の部 1時30分～(15分前開場)

各回114名 ※無料、当日受付先着順、全席自由

※4月以降も毎月上映予定です。

【広報用図版】 ※表紙の画像も提供可能です。



「山水図」奥原晴湖 明治30年(1897)
茨城県立歴史館蔵 ※前期展示



「秋景山水図」猪瀬東寧 明治35年(1902)
茨城県近代美術館蔵 ※後期展示



「山中探奇図」松林桂月 昭和7年(1932)
茨城県近代美術館蔵



「威震八荒図」奥原晴湖 明治41年(1908)
茨城県立歴史館蔵 ※後期展示



「桃花源」小川芋銭 昭和7年(1932) 茨城県近代美術館蔵

※図版使用に際しての注意

- ・展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用願います。
 - ・図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工はご遠慮ください。
 - ・図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
 - ・図版はデータでの提供となります。
- 広報担当まで連絡、または右QRコードを読み込んでリクエストしてください。



【問い合わせ先】 茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL: 0293-46-5311 FAX: 0293-46-5711 E-mail: kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当: 宮本 夢花 / 広報担当: 大津 友美

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介して参ります。



当館HPへ